

いしかわ

まちづくりView

No.22

いしかわの色んなまちづくり見にこんけ!

(ほっと石川まちづくり全国発信事業).....	1・2・3
あのまち、このまち“まちづくりめぐり”	
～「本町通りのモミ」をまちのシンボルとして保存～(白山市)...	4
～鳳至上町通り沿道地区街づくり～(輪島市).....	5
～くらつきのまちづくり～(金沢市).....	6
まちづくりの動き	
金沢都心軸基幹バス(シティライナー)	
利用推進プロジェクト(交通実験2004)の実施について...7	
センターだより.....	8

財団法人いしかわまちづくりセンター

特集

いしかわの色んなまちづくり見にこんけ!

(ほっと石川まちづくり全国発信事業)

1. 事業の背景と目的

近年、滋賀県の長浜や長野県の小布施等、まちづくり事業中の観光地への交流人口が大幅に増加しています。また、まちづくりNPOや行政等の研修の一環として、まちづくりに熱心で且つ成功を収めつつある地域への視察研修も脚光を浴びています。

一方石川県内では、例えば県事業として「都市ルネッサンス石川・都心軸整備事業」等で8箇所(珠洲市、輪島市、七尾市、金沢市、加賀市、能登町、山中町)が事業進行中であり、他にも様々な住民主体によるまちづくりが行われています。

これにより、従来からの観光に加え、まちづくりの先進事例として全国からの問い合わせ業務が最近多くなっています。

よって、このような「視察研修型観光」を新しく全国に提案し、新たな観光施策の展開を図るため、(財)いしかわまちづくりセンターでは、「ほっと石川まちづくり全国発信事業」を今年度事業着手しました。

これは、石川のまちづくりの先進地として、例えば山中町の「ゆげ街道」や輪島市のまちづくり等を全国

に紹介し、併せて観光情報も紹介することにより、視察誘致と観光誘致の相乗効果を図るものです。



観光客でにぎわう山中町

2. 事業の概要

事業の概要としては、「まちづくり語り部さん」の育成と、石川のまちづくり全国発信を行っています。

「まちづくり語り部さん」の育成

まず においては、まちの歴史や見どころ、まちづ

特集

いしかわの色々なまちづくり

くりの苦労話を現地で説明し、まちづくり視察に対応する「まちづくり語り部さん」を育成しました。

その「まちづくり語り部さん」を選出するに当たり、前述の8箇所の市町より、まちづくりに熱心で且つわが町に自負心をお持ちの住民の方々をご推薦いただきました。

集まって頂いた方々には、「まちづくり語り部さん学習会」に参加していただき、まちづくり視察の時の対応、話し方のテクニック等を学んで頂きました。

例えば第2回学習会においては、既にまちづくり視察を多く受け入れている七尾市の「まちづくり語り部さん」に講師になっていただき、視察シミュレーションを行いました。

七尾市では3人のまちづくり語り部さん同士が連携をとり、一人が七尾のまちづくりの全体概要、他のお二人が各々のまちづくりの現地説明を行い、他市町のまちづくり語り部さんは、その三者三様の流暢な説明に感動していました。

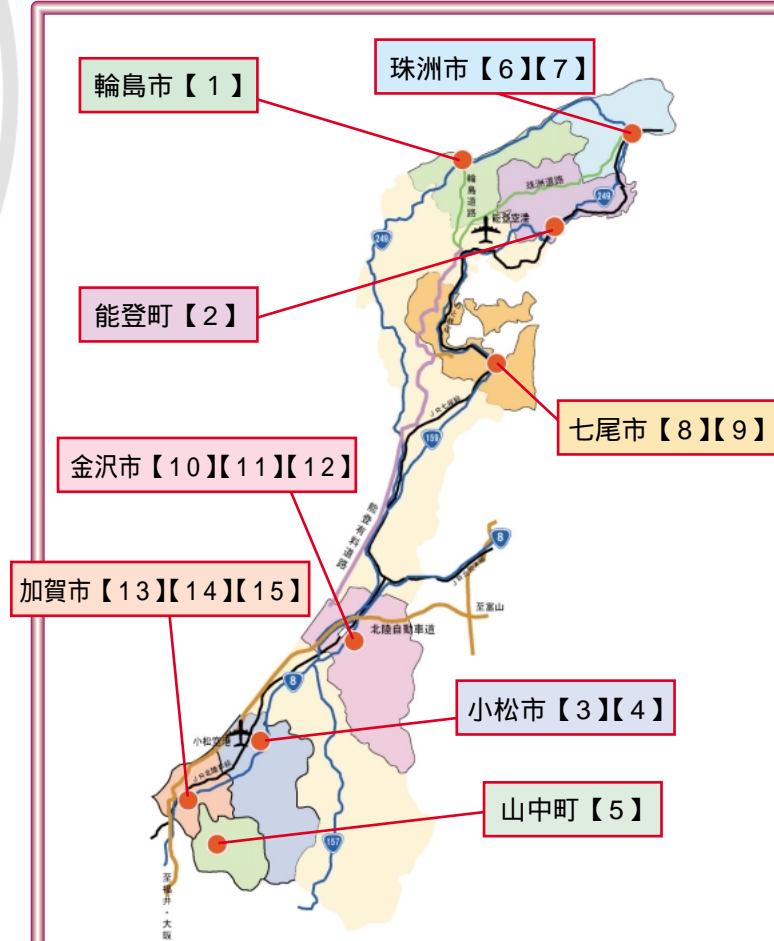


七尾市でのまちづくり語り部さんの説明

また第3回は、平成17年1月にまちづくり協定を結んだ小松市材木町や、現在まちづくり事業進行中の小松駅前通り等を行っている小松市で学習会を開催しました。



小松市でのまちづくり語り部さんの説明



【1】～【15】は、取組み事例の箇所番号

【1】事業を契機に目覚めた商店街（輪島市・馬場崎商店街）



馬場崎商店街のまちなみ

【2】道路はお店の前庭です。住民による道路の管理と活用（能登町・新町通り商店街）

【3】歴史ある町並み保全と誇りある曳山子供歌舞伎の伝承（小松市・こまつ町家再生を考える会）

見にこんげ！ (ほっと石川まちづくり全国発信事業)

- 【4】生まれ変わるレンガの街(小松市・レンガ通り)
- 【5】一店舗二業種の取組みでお客さんが倍増(山中町・南町ゆげ街道)



一店舗二業種の取組みをしている商店

- 【6】ハーブの香る商店街づくり(珠洲市・飯田町商店街)
- 【7】広い歩道の活用が活性化の鍵(珠洲市・春日通り)
- 【8】合い言葉は「川はともだち」(七尾市・御祓川周辺)
- 【9】町の宝を再発見！(七尾市・一本杉通り商店街)



商店に飾られた花嫁のれん

- 【10】しょうゆ蔵再生で「身の丈」のまちづくり(金沢市・大野地区)
- 【11】重伝建を守る住民活動(金沢市・東山地区)
- 【12】中心市街地活性化の糸口を見つけるには？(金沢市・金沢TMO)
- 【13】町の魅力アップで、温泉客を呼び込め！(加賀市・山代温泉)
- 【14】加賀の自然と文化を活かします(加賀市・片山津)
- 【15】町の良さを見直す取組み(加賀市大聖寺)

小松市のまちづくり語り部さんは、まちづくりが開始し始めたばかりということもあり、みなさんとても熱心にまちづくりの説明をされ、予定時間をオーバーする等もありましたが、今後のみなさんへの参考となる学習会となりました。

第4回では、まちづくり語り部さんに、テキストとなる「虎の巻」を授与しました。また、今後観光方面へのPRを積極的に図るため、県内の観光情報センター等の方々をお招きして、まちづくり語り部さんを紹介したリーフレット等の贈呈を行いました。



修了式でのリーフレット贈呈の様子

石川のまちづくり全国発信

石川の様々なまちづくりを全国にPRするため、リーフレット・パンフレットを作成しました。

パンフレットは、石川県各地のまちづくり情報や、まちづくり語り部さんの紹介、観光情報も含めた問い合わせ先を記載し、一枚で観光・まちづくり両方の情報が手に入るように工夫されています。一方、リーフレットはよりコンパクトに情報をまとめ、特に観光客の方々に手に取っていただきやすいようにしました。

これを全国に配布することにより、視察型観光の提案や、まちづくり先進地の紹介、まちづくり語り部さんのPR効果が期待されます。

3. 今後の予定

全国配布は、平成17年春には送付予定です。

まちづくり語り部さんは、春とともに全国のみなさんがお会いに来て下さるのを今か今かと楽しみにしております。能登空港もご利用されれば、東京～輪島間3時間程度での移動も可能です。

ぜひとも！石川県の色んなまちづくり見にこんげ！

中央大通り線(白山市)完成～「本町通りのモミ」をまちのシンボルとして保存～

1. 事業の目的

本路線は旧鶴来町中心部の市街地を南北に縦貫する主要な道路です。沿線には、民家や商店の他、白山市鶴来支所（旧鶴来町役場）、北陸鉄道石川線鶴来駅、銀行及びショッピングセンターなど集客性のある施設が数多く立地しています。しかし、整備前は道路幅員が狭く、著しい交通混雑をきたしていました。特に、本整備区間がボトルネックとなっていたため、円滑な交通環境の確保が強く望まれていました。

そこで本事業は、中心市街地の活性化と快適な住環境の創造及び道路利用者の利便性を高めるために事業着手することとなりました。

2. 事業の経緯

白山市鶴来支所・鶴来駅前～本町4丁目交差点までのL=322mについては、平成8年度に整備が完了しており、これに引き続き、今回本町4丁目交差点～鶴来本町交差点間のL=215m区間において平成9年度～平成16年度にかけて整備を行いました。



整備完了後の鳥瞰風景

3. 事業の特徴

以下に、本事業の特徴を紹介します。

「本町のモミ」について

整備区間の途中、本町3丁目に樹高25m、目通り周囲3.75mの樹齢150～200年と推定されるモミの木が立っています。この「本町通りのモミ」は、商家の町並みの歴史を物語るものであり、町並み景観の大切な財産として近隣の重要なランドマークとなっています。そのため、鶴来の重要景観として後世に残す価値ある「名木」であったため、平成10年3月に鶴来町（現白山市）がこの「本町通りのモミ」を天然記念物として指定しました。したがって、道路

整備にあたっては、このモミの木を現状のまま残すため、一部線形を見直すとともに、歩道幅員を拡幅する都市計画決定の変更を行いました。



「本町通りのモミ」はまちのランドマークとして機能している

流雪溝について

本地区は冬期の積雪量が多いため、車道部は既設散水消雪施設を利用し除雪対策を行っています。一方歩道部については、排水路を流雪溝として利用することにより排雪を行うこととしました。

流雪溝（排水路）の管理については、地元町会と管理協定を結び、快適な生活環境を確保するため、地域住民と一体となった協力体制を築き上げました。



(石川県土木部都市計画課 街路・都市交通グループ)

～輪島市鳳至上町通り沿道地区街づくり～

1. 地区の概要

輪島市の伝統産業である輪島塗は、室町時代より北前線とともに栄え、今日に至っています。

鳳至上町通りは、これら職住一体の塗師の家のたたずまいが今でも残っている唯一の地区であり、塗師の家にふさわしい建築様式で街なみが形成されてきた地区です。

2. 協定の目的

塗師の家のたたずまいと調和する街なみ景観を形成させるため、街づくりに対する地域住民の意識の高揚を図りながら、街路拡幅整備による建替え再整備ではなく、外壁改修などによる修景整備を行い、効果的な街なみ整備を行っています。

また、道路美化を行うとともに地区住民のための小公園、防災施設、生活環境施設の整備等を行い良好な居住環境づくりを目指しています。

3. 協定事項（住宅等の整備に関する事項）

所有者等は、住宅等の整備にあたり、街なみの調

和と居住環境の向上に向け、次の事項に配慮することとしています。

建築物は、2階建てを原則とし、3階建ての場合は3階の壁面をセットバックさせる。

道路に面した建築物の大屋根は、切妻屋根とし、1階部分は下屋出しを基本とする。

建築物の屋根は勾配屋根とし、黒を基調とした瓦屋根とする。

外壁は、周囲の街並みと調和する落ち着いた色彩とし、奇抜な原色系を避ける。また、外壁の材料はアテ材やスギ材の下見板張り等とする。

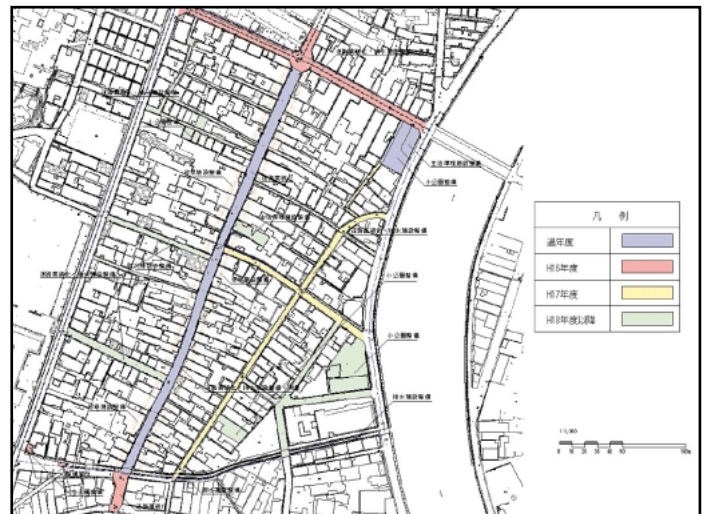
住宅に付属する外部建具は、木製またはこれに準じた仕上げ、色彩のものとする。

外部に面する建築設備等は覆いをかけるなど、配置や修景に努める。

道路と敷地の境界部に塀を設ける場合は、板塀や生け垣等の設置により緑化を図る。

屋外広告物の設置は、街なみを阻害しない程度のもので、材料は木製を基本とする。

協定区域整備計画図



鳳至上町通り沿道地区

道路美化



施工前



施工後



街なみと調和した住宅



小公園及び生活環境施設

(石川県土木部都市計画課 都市政策グループ)

金沢市

～くらすきのまちづくり～

はじめに

金沢市の都心軸の一つとして、広域交通網の交通結節点である金沢港や地域高規格道路、北陸自動車道等の利便性を活かし、商業・業務・流通機能の集積と周辺の職住近接型の住宅地の整備等を旨としてはじめた鞍月土地区画整理事業での、地域住民を主体とした街づくり活動を紹介します。



「鞍月地区」の俯瞰

地域住民による街づくりの推進

金沢の駅西地域については、昭和44年以来、土地区画整理事業を中心とした基盤整備が進められ、駅西開発協議会による企業誘致などの街づくり活動により主として金沢駅～国道8号間の市街地の形成が図られました。

一方、国道8号～金沢港間についても土地区画整理事業による基盤整備が進められる中、県庁舎を核とした副都心構想が平成8年2月に提案され、これを受けて「金沢西部副都心整備計画」が取りまとめられました。

平成10年には、地域住民が主体となり、県・市および関係機関による「金沢西部副都心街づくり協議会」を立上げ、「金沢西部副都心整備計画」の推進や望ましい副都心の形成を進めるための諸活動を行なっています。

金沢西部副都心街づくり協議会の活動内容

『街並み誘導支援』

副都心地区に相応しい施設の立地を景観やバリアフリーに配慮した建築設計を誘導するため、地権者

によって結ばれる「街づくり基本協定」の運用等の街並み誘導支援を行なっています。また、幹事会では具体的な景観形成の助言を行なっています。

『施設の誘致活動』

広域的な機能の集積を図るため、県外を含む企業等に対して施設の誘致活動を行なうとともに、有効な土地利用方策について調査・研究しています。また、ホームページや企業誘致パンフレットも作成しています。

『地権者の勉強会等の支援』

地権者に対して、望ましい街づくりや税制を含む土地活用等に関する講習会の開催や個別相談等の支援活動を行なっています。



「企業誘致HP」

街づくりフェスタの開催

鞍月土地区画整理事業の完工記念イベントとして、平成16年10月には「街づくりフェスタ」を開催しました。地域住民による地域芸能の発表や地域への進出企業がイベントに出店するなど、地域が協力してフェスタを盛り上げました。



「街づくりフェスタ2004」

(石川県土木部都市計画課 区画整理グループ)

まちづくりの動き

～金沢都心軸基幹バス（シティライナー） 利用推進プロジェクト（交通実験2004）の実施について～

金沢都心部においては、交通渋滞の緩和、中心市街地の活性化の観点から公共交通の充実が必要であると考えており、平成12年度からバス利用促進に向けての交通実験を実施しております。

平成16年度も平成16年11月13日（土）から28日（日）までの16日間金沢都心軸基幹バス（シティライナー）利用推進プロジェクト（交通実験2004）を実施しました。

1．バス利用推進実験

（1）連節バス運行実験

連節バスの車両を京成バス(株)（東京都）から借受け、平日は野々市町稲荷～県庁間、土日祝日は野町駅～金沢駅東口間を運行しました。また、運行開始前日の11月12日（金）には、関係者、地元の園児を招き、試乗会を開催いたしました。

実験期間中の連節バス利用者は、全体で5,100人余り、朝のピーク時で1便最大で94人、平均で70人の利用がありました。



連節バス試乗会の状況



連節バス運行状況
（香林坊）

（2）パーク＆ライドの新設・拡大

実験期間中の平日9日間、新規パーク＆ライド駐車場4箇所の設置（津幡駅・松任駅・鶴来駅・バロー金沢高尾店（扇台小前））及び既存のパーク＆ライド駐車場5箇所の台数拡大（額住宅前駅・チューリップ金沢東店（柳橋））及び野々市店（稲荷）NOA21（野々市中央）・北陸鉄道野々市車庫（横宮））を行い、併せて85台の駐車場を新たに確保したところ、約7割の利用がありました。

（3）ランチタイムバス券実験

11月22日から28日の7日間、5タウンズ、むさし地区の商店街にご協力頂き、商店街の協力加盟店において、昼食500円以上のお客さんを対象に200円バス券を進呈（当日17時まで利用可）する取り組みを実施しました。

バス券利用枚数は7日間合計で、1,700枚余りの利用がありました。

（4）企業参加によるバス利用推進実験

実験期間中、バスの利用が便利な金沢都心部企業に通常マイカー通勤している方を対象に、バス利用を働きかけたところ、都心部企業の5事業所31人参加がありました。

2．バス走行性向上実験

（1）夕方バス専用レーンの時間延長実験

実験期間中の平日9日間及び土曜3日間、国道157号のむさし 犀川大橋北詰、野町広小路 むさし等の区間において、夕方バスレーンの時間延長（通常：17:00～18:30、実験17:00～19:30）を実施しました。

結果、概ねバスの円滑な通行が確保され、また周辺の大きな交通の混雑も確認されませんでした。

（2）荷捌き車両対策実験

実験期間中の平日9日間、国道157号上での荷捌き車両削減のため、国道157号近隣に荷捌きスペースを2箇所（松ヶ枝福祉館、明治安田生命ビル駐車場）設置したところ、1日約10台の利用がありました。

（3）客待ちタクシー対策実験

実験期間中毎日、香林坊アトリオ前タクシーベイの客待ちタクシーの縦列駐車を排除するため、広坂地内にタクシープールを確保し、香林坊タクシーベイへ呼出しを行ったところ、1,200台余りの利用があり、円滑なシステム運用により、タクシーベイ進入待ちの路上タクシーを排除し、バス停での円滑なバス運行の確保ができました。

今後は、バス利用者数の変化、道路交通への影響、各種アンケート結果などを総合的に分析・評価して、成果が認められた施策については、本格実施に向けた検討を行いたいと考えています。



タクシープールの状況
（石川県土木部都市計画課 都市交通グループ）

センターだより

平成17年1月8日（土）、金沢市尾山町の文教会館にて、「いしかわのまちづくりNOW」まちづくりリーダー養成事業報告会が開催されました。

「いしかわのまちづくりNOW」まちづくりリーダー養成事業報告会（平成17.1.8）

これまでのまちづくりリーダー養成事業報告会は、子どもたちのまちづくりリーダー養成活動をされた方々の報告を主に行ってきました。

しかし、今年度は実際にまちづくり活動をされているリーダーの方々にも活動報告をしていただき、まちづくりリーダーとしてどのような成果があったのか、もしくは求められているのかを検証するための報告を追加することにしました。

まず第1部については、当財団より平成16年度の活動報告を行いました。



第2部は、3名の方々が報告をされました。

まず、NPOこまつまちづくりセンターの吉本さんが、「こまつ都市再生フォーラム」の一環として行われた「小松市高校生まちなか探険」を報告されました。これは小松市内の4つの高校生が、まちなかを探険し、



小松市の良さ等を再認識し、今後の小松市の活性化に結びつけようという目的で開催されたものです。

松任市（現白山市）青少年育成センターの岡本さんは、松任市立蕪城小学校で行われた「まちめぐり&ジャンボフェスティバル」を報告されました。また参考報告ですが、金沢学院大学の馬場先助教授が授業の一環として行われた「卯辰山山麓のまちなみwatch」を報告されました。

そして今年度追加された第3部では、3人のまちづくりリーダーに報告していただきました。

まず最初に、川の再生によるまちづくり活動をしている七尾市の森山さんに、特集でもご紹介した「まちづくり語り部さん」に参加して気がついた点などを中心にお話しして頂きました。

次に、街並み保存活動をされている加賀市大聖寺の瀬戸さんに、今年度9月に開催された「第27回全国町並みゼミ」を報告して頂きました。

最後に温泉街の活性化活動に取り組んでいる小松市粟津温泉の吉田さんに、昨年度から取り組まれている粟津温泉の女性による粟津温泉まちづくり組織「ゆのはな会」の活動を報告していただきました。

出席者は50名を越え、昨年度よりさらに熱気あふれる報告会となりました。特に大学生の参加者は半数近くを占め、近年住民主体のまちづくりに注目が集まっていることが感じられる会となりました。



編／集／後／記

今回は、来年度からいよいよ始動する「まちづくり語り部さん」を特集してみました。みなさんもまちづくり案内を聞きながら、石川県を巡る旅にでてみませんか？詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

編集協力：石川県都市計画課
発行：（財）いしかわまちづくりセンター
TEL 076-225-1905 FAX 076-225-1943
HP://www.pref.ishikawa.jp/machicen/index.htm
発行日：平成17年3月